

分担研究報告-3.

令和元年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業） 脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設 研究班分担研究報告書

「脊椎関節炎診療の手引き」作成について

研究分担者：田村 直人（順天堂大学医学部膠原病内科 教授）

研究要旨

リウマチ専門医のみならず、脊椎関節炎診療に係わる医師、一般医、研修医などを対象とする「脊椎関節炎診療の手引き」の作成および編集を行った。本研究班で編集委員会を組織して、手引きの目次、各項の執筆者を決定した。執筆内容について編集委員会で検討し、変更・修正を行った。体軸性脊椎関節炎、末梢性脊椎関節炎、小児脊椎関節炎など脊椎関節炎診療の全般を含む内容となった。

A. 研究目的

脊椎関節炎(spondyloarthritis: SpA)は、体軸関節炎、末梢関節炎、付着部炎、ぶどう膜炎などの関節外症状、HLA-B27の関連など共通の特徴を示す疾患群の総称である。脊椎関節炎は、体軸関節優位に病変を認める体軸性脊椎関節炎(axial SpA)と末梢関節優位な末梢性脊椎関節炎(peripheral SpA)に区別される。日本人はHLA-B27保有者が0.3%と低頻度のため、関連性が高い体軸性脊椎関節炎はまれであり、疾患概念が浸透しておらず、診断の遅れや誤診、過剰診療などが起こりやすい。また、乾癬性関節炎など末梢性脊椎関節炎は診療科間の連携が早期診断に必要である。脊椎関節炎診療について、正しく理解し診療に関する知識を深めることを目的として、体軸性脊椎関節炎、末梢性脊椎関節炎、および小児脊椎関節炎に関する診療の手引きを作成することを目的とした。

B. 研究方法

本研究学会議で討議し、手引きの概要について検討した。分担研究者が編集委員長となる編集委員会を編成し、手引きの内容、目次、各項目の執筆者を決定した。原稿の内容については編集委員会にて検討、討議する。

C. 研究結果

1) 対象

リウマチ医、整形外科医、一般内科医、研修医・専攻医など広く対象とすることが確認された。

2) 内容

記載内容については、大きく分けて、体軸性脊椎関節炎、末梢性脊椎関節炎、小児の脊椎関節炎、その他とした。各論では、強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎、乾癬性関節炎、反応性関節炎、炎症性腸疾患に伴う脊椎関節炎、分類不能型脊椎関節炎について、概念、疫学、病院・病態、臨床症状、画像所見、診断と鑑別診断、治療について記載した。執筆された原稿について、編集委員会を2回開催し、内容の確認、検討、変更および修正を行った。

4) マイルストーン

2019年度中に発行を達成する見込みである。

D. 考察

脊椎関節炎診療の手引きの作成、編集を行った。本研究班ではわが国における体軸性脊椎関節炎の疫学を調査中であり、また新規治療薬の開発、申請も進行中である。さらには既存治療薬が「X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎」の適応の承認申請中であるため、今後も内容の改訂が必要である。

E. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Matsuki-Muramoto Y, Ogasawara M, Kawamoto T, Yamaji K, Tamura N. Picture superiority effect as one of the potential advantages of musculoskeletal ultrasound complementation for verbal explanation. Mod Rheumatol, 2019. [Epub ahead of print]
- 2) Kishimoto M, Yoshida K, Ichikawa N, Inoue H, Kaneko Y, Kawasaki T, Matsui K, Morita M, Suda M, Tada K, Takizawa N, Tamura N, Taniguchi A, Taniguchi Y, Tsuji S, Haji Y, Rokutanda R, Yanaoka H, Cheung PP, Gu J, Kim TH, Luo SF, Okada M, López Medina C, Molto A, Dougados M, Kobayashi S, van der Heijde D, Tomita T: Clinical characteristics of patients with spondyloarthritis in japan in comparison with other regions of the world. J Rheumatol 2019;46(8):896-903.

2. 学会発表

- 1) 田村直人. 強直性脊椎炎の治療. シンポジウム 2. 膠原病・リウマチ性疾患の新規治療と展望. 第 34 回日本臨床リウマチ学会, 2019 年 11 月 30 日, 名古屋国際会議場, 愛知.
- 2) 田村直人. 関節リウマチおよび脊椎関節炎. アニュアルエビデンスレビュー1. 第 47 回日本臨床免疫学会, 2019 年 10 月 19 日, ロイトン札幌, 北海道.
- 3) 田村直人. 強直性脊椎炎の正しい理解. 市民公開講座 強直性脊椎炎・SAPHO 症候群講演会. 2019 年 9 月 15 日, グランフロント大阪, 大阪.
- 4) 田村直人. リウマチ性疾患における TNF 阻害療法および IL-17 阻害療法の現状と今後の展望. シンポジウム 5 臨床応用されたサイトカイン療法の現状と今後の展望. 第 84 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会, 2019 年 8 月 3 日, 神戸国際会議場, 兵庫.
- 5) 多田久里守, 小林茂人, 林絵利, 井上久, 山路健, 田村直人. 強直性脊椎炎患者の X 線変化に關与する因子の解析. 第 63 回日本リウマチ学会総会学術集会,

2019 年 4 月 17 日, グランドプリンスホテル京都, 京都.

- 6) 多田久里守, 小林茂人, 林絵利, 井上久, 山路健, 田村直人. 強直性脊椎炎患者の疾患活動性評価における Leucine Rich 2 Glycoprotein (LRG) の有用性. 2019 年 6 月 25 日, ANA インターコンチネンタル石垣, 沖縄.
- 7) 多田久里守, 小林茂人, 大久保ゆかり, 林絵利, 井上久, 山路健, 田村直人. TNF 阻害薬投与によるパラドキシカルリアクションが出現し, IL-17 阻害薬への変更で改善した症例. 第 29 回日本脊椎関節炎学会学術集会, 2019 年 9 月 14 日, グランフロント大阪, 大阪.

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし